



小樽商科大学地域広報誌

OTARU UNIVERSITY  
OF COMMERCE

2002.2 創刊号

# ヘルメス Hermes Courier クーリエ

さらに開かれた大学を目指して

小樽商科大学長 山田 家正

シリーズ先生紹介 / 青竹 正一教授

特集1：小樽商科大学90周年

## いつの時代も地域に 根ざしたシンクタンク

特集2：国際交流

Click the 学生

次期小樽商科大学長挨拶  
秋山 義昭

INFORMATION

創刊の辞

「敬して遠ざける」という表現があります。けっしていままでの商大がそうだったというわけではありませんが、町の人たちの意識に自然に溶け込んで商大が存在して来たとも言い切れないような気がします。また学内でもジェネレーションギャップが存在し、古手の教官にとっては大学1、2年生の内輪の会話を耳にしても半分も理解できないのではないのでしょうか。さらに翻って、教官同士ではごく当たり前の言葉や表現が学生や一

般市民の人たちには分からないことがあるかも知れません。21世紀を迎え遅まきながら、こうしたコミュニケーションギャップを解消し、より地域に開かれた大学を目指して、小樽商科大学も広報誌『ヘルメス・クーリエ』を発行することになりました。どうぞ好奇心を発揮していただいて、小樽商大がどんな大学なのか知ってください。そして忌憚のない御批判と積極的な提言をお願いします。



### 誌名の由来

ヘルメス(Hermes)は、ギリシャ神話の神の一人で伝令の神、また商業、学術などの神、別名マーキュリー(Mercury)。この神は2匹の蛇がからみついた翼の杖をもち、伝令の神として世界中を飛び回っています。このため商業系の学校ではシンボルマークにこの杖が意匠として広く用いられてきました。本学の前身である小樽高商の校舎に避雷針として据えられていたものもこのヘルメスの杖(大学会館に展示しています)です。クーリエ(courier)とはフランス語で郵便物のことですが「～通信」として新聞誌名等に用いられています。ですから「ヘルメス・クーリエ」とは「商大通信」であるをご理解ください。